

経営者・人事担当者に人材を見極めるコツを伝授！

見抜く！選ぶ！くどく！ 面接力強化セミナー

日時：平成28年2月3日(水) 10:00～15:00

会場：東京屋外広告ディスプレイ健康保険組合

講師：有限会社グローバル 梅田幸子氏

■研修目的

「面接慣れした学生の本音を引き出す面接法は？」「中途採用で良い人材を見極めるコツは？」「いい人は内定を出しても他社にとられてしまう」そんな多くの企業が抱えるよくある悩みを解決する面接力強化セミナーです。

『採用は、理想の会社をつくるための「投資」であり、最大の「リスクマネジメント」である(講師：梅田幸子氏)』

「採用」と一口にいても新卒採用・中途採用・紹介予定派遣など様々ですが、売り手市場の昨今、皆さんも採用面接では様々な工夫をなさっていることと思います。採用活動は「自社にとって本当に必要な人材とは？」という命題を真剣に考える良い機会となります。

今回のセミナーでは採用時の「面接力」を高めるために何をすべきか。そのヒントを、4,000人以上の面接をご経験された講師の梅田氏に、様々な実例を交えお話いただきました。その内容は①本音を引き出す力(面接は前のめりで、微笑み・あいづち、会場セッティングが大切)②応募者は無意識にウソをつく(マニュアル回答ではない、本当の強み・魅力を引き出すには?)③効果的な質問(会話のきっかけと対話の深掘りで、必要な能力・素養を探る)④入社後のトラブルを減らすチェック項目(社風との親和性、どの上司につけるか)⑤志望度を上げるキラートーク(行動の動機に沿い会社をアピール)といった項目に沿い、模擬面接を取り入れた楽しいグループワークも交え、これからの面接ですぐに使える実践的なものでした。セミナーに出席された皆さんにとっては大変参考になったのではと思います。

企業の継続的発展にとって「新しい人材＝採用」の重要性は言うまでもありません。新しい人材が入ることで組織の同質化を回避し、多様性によって組織全体の活性化が図られます。採用においては、どのような人材を採用するか採用

計画・採用基準をしっかりと立てて面接に望みたいところですが、面接担当者の「経験と勘」で採用を進め、会社にとって本当に必要な人材を見落とししていないか？という不安はありませんか。また、選考過程での時間的制約により、応募者の本当の良さを見落としている可能性もあります。この点で、講師の梅田氏は、自社の「採用基準」をどのように設定するかが非常に重要であるといえます。他方、成績や面接での受け答えだけではなく、将来一緒に働く姿が想像できるか、といった直感的な視点も大切だそうです。「採用基準」を検討する際、自社の社員として本当に必要な要件は何か？その要件は入社後でも育成可能か？それとも育成不可能な資質か？それらを分けて考える必要もあるとのことでした。今回のセミナーでは『喜びの源泉』という言葉が印象に残りました。自社の仕事に夢中になって取り組める要素を応募者の過去の経験と結びつけて聞くと、入社後も、夢中になって働くと言います。同時に、企業理念・育成や評価・職場環境の整備などを通して、社員に、いろいろな『喜びの源泉』を提供すること、それが企業の継続的発展に繋がるのではと思います。

最後になりましたが、梅田先生有難うございました。

広報委員 佐々木 秀明／ジーク(株)東京店

